

ボツワナ共和国月報(2023年7月)

主な出来事

【内政】

- セロウェ西地区議会補欠選挙で野党BPFが勝利
- ボツワナ、同性愛行為を非犯罪化する刑法改正へ

【外政】

- 米アフリカ・ビジネスサミット
- アンゴラ大統領、ボツワナを公式訪問

【SADC関連】

- SADC政治・防衛・安全保障オーガントロイカ他臨時首脳会合の開催

【経済】

- デビアス社とのダイヤモンド販売・採掘に係る新たなパートナーシップ
- アフリカ開発銀行によるメガソーラープロジェクト支援
- ボツワナ銀行2022年レポート
- 6月インフレ率-前月比で2.2%の下落-
- 5月国際商品貿易統計-3か月連続黒字-

【内政】

- セロウェ西地区議会補欠選挙で野党BPFが勝利

8日にセロウェで行われた国会議員補欠選挙では、ボツワナ愛国戦線党(BPF)が2988票を獲得し、ボツワナ民主党(1267票)、ボツワナ議会党(103票)、無所属(82票)を抑え勝利した。BPFはカーマ前大統領の政党であり、主要野党の野党連合民主革命のためのアンブレラ(UDC)から支持を受けた。なお、本選挙は、2019年以来初めて実施された議会補欠選挙であった。

- ボツワナ、同性愛行為を非犯罪化する刑法改正へ

法務大臣は、刑法を改正し、ボツワナの同性愛行為を非犯罪化する法案を国会に提出した。本法案は、刑法の一部が憲法第3条、第9条、第15条(基本的権利、プライバシー、差別からの保護)に整合的でないとした2021年の控訴裁判所の判決を受け起草されたものである。刑法では同性愛行為は不自然犯(164条、7年以下の懲役)に分類されている。

【外政】

- 米アフリカ・ビジネスサミット

11日～14日、政府とアフリカ企業評議会(米国とアフリカ諸国間のビジネスと投資を促進するために設立された米国のビジネス団体)の共催で、「グローバル・バリュー・チェーンにおけるアフリカの価値向上」と題する第15回米国・アフリカ・ビジネスサミットがハ

ボローネ市内で開催された。このサミットには、アフリカ6か国首脳を含む米国・アフリカ政府関係者、ビジネス関係者1,000名以上が参加し、米国政府は162億ドル(約2.3兆円)のアフリカへの投資を表明した。

○ アンゴラ大統領、ボツワナを公式訪問

20日～22日、アンゴラ共和国のジョアン・ロウレンソ大統領が、ボツワナを公式訪問し、マシシ大統領との共同記者会見にて、交通、農業、水資源、環境保全の分野での協力を約束した。ロウレンソ大統領は、アンゴラが石油・ガス用の新港を建設中であることを明かし、ボツワナが株主になることを望んでいると述べた。マシシ大統領は、数十年にわたる内戦で枯渇したアンゴラの野生動物の再繁殖を支援するため、8,000頭の象を贈呈することを約束した。

【SADC関連】

○ SADC政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ他臨時首脳会合の開催

11日、SADC政治・防衛・安全保障オーガン・トロイカ他臨時首脳会合が開催され、コンゴ民主共和国及びモザンビークを含む地域の安全保障情勢が討議された。本首脳会合は、モザンビークのSADCミッション(SAMIM)による進展を称えたうえで、SAMIMのマンデートを2023年7月16日から1年間延長すると決定するとともに、コンゴ民主共和国にSADCミッションを派遣するための法的手段を承認した。

【経済】

○ デビアス社とのダイヤモンド販売・採掘に係る新たなパートナーシップ

1日、政府はデビアス社との間で、同社と共同出資するデブスワナ社が生産するダイヤモンド原石の販売契約を2033年まで延長するとともに、2029年に期限を迎える同社の採掘許可を2054年まで延長することで合意した。この一連の合意の中で、デビアス社は、新たに設立されるダイヤモンド開発基金への出資を通じ、ボツワナの産業多角化を支援していく。

○ アフリカ開発銀行によるメガソーラープロジェクト支援

アフリカ開発銀行は、ボツワナとナミビアの国境間の最大5ギガワット級のソーラープロジェクトに向けた地域市場調査を支援するための助成金を交付した。同行理事会は、アフリカ大陸全体の再生可能エネルギー発電量の増加を目指すアフリカ・エネルギー移行触媒(AETC)プログラムに対し788万ドルの助成金を承認している。

○ ボツワナ銀行2022年レポート

ボツワナ経済(GDP)は、鉱業の9.2%回復に支えられ6.4%成長した(9月期)。また、

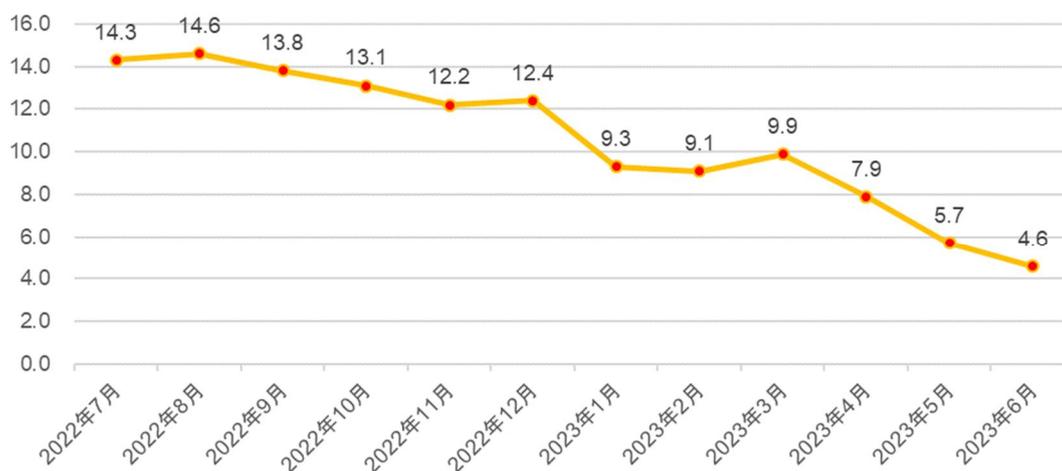
ダイヤモンド貿易の回復により、国際収支は85億プラの黒字となり、外貨流入も33億プラの純流入となった。他方、世界的な債券・株式相場の低迷から、外貨準備高は2021年12月の48億米ドルから2022年12月の43億米ドルに減少、同様にSDRも34億から32億SDRに減少した。また、9月、格付け会社S&Pは、ボツワナの長期・短期外貨建ておよび現地通貨建てソブリン格付けを、それぞれ「BBB+/A-2」に据え置いた。

4月、同行は、金融政策と市場金利の整合性を図るため、政策金利を従来の銀行金利から金融政策金利(MOPR)へ移行した。7月、改正ボツワナ銀行法が成立し、物価と金融安定化に関する同行の任務が明文化された。今年前半には、2036年までにボツワナが高所得国に移行することを支援するための制度整備の一環として同法の改正案が国民議会に提出の予定である。

○6月インフレ率-前月比で2.2%の下落-

6月の年間インフレ率は4.6%で、前月の5.7%から1.1%下落した。分野別寄与度は、食品・非アルコール飲料(1.1%)、雑貨・サービス(0.8%)であった。インフレ率は、2022年8月に14.6%を記録して以降、低下傾向を示しており、前月に続いてボツワナ銀行(中央銀行)の中長期的インフレ目標の3%から6%のレンジ内に収まった。

図: インフレ率の推移



○5月国際商品貿易統計-3か月連続黒字-

5月のボツワナの商品輸入額は66億2300万プラで、2023年3月の62億430万プラ(改定値)と比べ6.7%増加した。他方、同月の輸出総額は85億3750万プラで、2023年3月の65億2570万プラ(改定値)から30.8%増加した。この結果、同月の貿易黒字は1.914億プラとなり、3か月連続の黒字となった。

(分野別内訳:上位5分野(%))

	1位	2位	3位	4位	5位
輸入	燃料 19.8	食料品等 15.2	機械・電機 14.7	化学・ゴム製品 13.1	ダイヤモンド 12.9
輸出	ダイヤモンド 84.4	銅 6.2	機械・電機 3.0	牛 0.8	塩・ソーダ灰 0.7

(国別内訳:上位5か国(%))

	1位	2位	2位・3位	4位	5位
輸入	南ア 66.2	ナミビア 4.6	アルメニア 4.6	中国 4.0	カナダ 3.7
輸出	UAE 37.3	ベルギー 17.3	インド 16.5	南ア 6.9	中国 5.8

(了)